

ポイント①

床の一部に異素材を  
取り入れて飛び石や  
苔をイメージ

コンクリートそのままのフロアには、まず石の風合いを持つ「クレガーレ」を敷いてベースに。和のイメージを創りたいなら、瓦を感じさせるしっとりとした黒のタイル(※)がおすすです。全面に同じものを敷いてもいいですが、ところどころに色や素材違いの床材を取り入れると、空間に動きが生まれます。

たとえば黒のタイルの一部に白のタイルをアクセントに使うと、飛び石のようなイメージに。ところどころにガーデン用の玉石を敷きつめて、質感の違いを出すのもよいでしょう。

部分的に市販の天然芝ユニットを使っても、苔むしたような麻のイメージが作れて効果的。自由なアイデアで、アレンジを楽しみましょう。

※モノタイル・ストーンブラック色。最終ページの商品紹介をご覧ください。

敷きつめやすいユニット状の天然芝。ホームセンターや園芸用品店で市販されています。

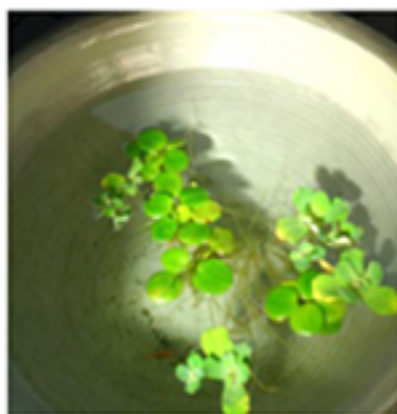


ポイント②

時の流れを楽しむなら  
水盤やガーデンライトで  
ドラマティックに

外に出ることの少ない冬場は、空を見上げたり時間の流れを感じる機会が少ないです。まずはバルコニーに大きめの水盤を用意して、水を張ってみましょう。鏡のように天を映し込んで、変わっていく空の色が目を楽しませてくれます。水盤は大きな植木鉢や食品用の器でも代用できるので、すぐにでもチャレンジできるアイデアです。

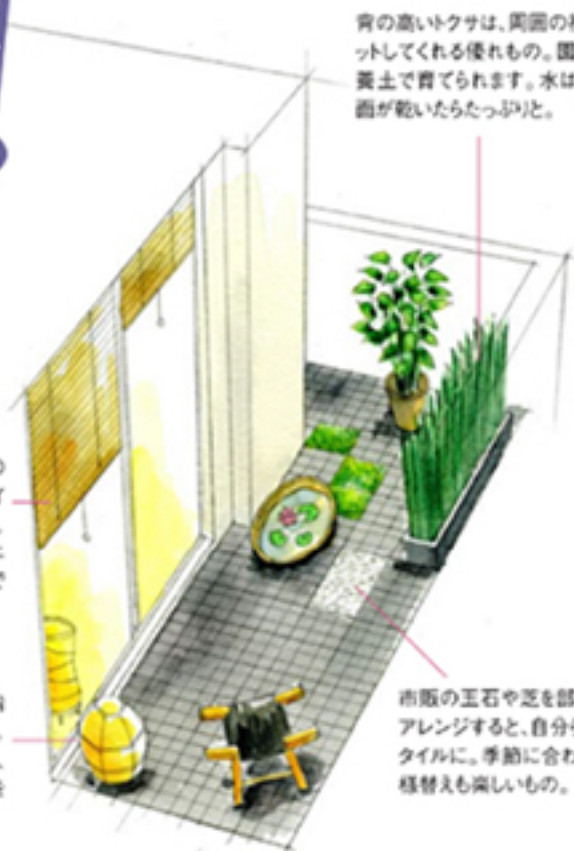
空が暮れかかってきたら、バルコニーにライトを灯しましょう。こまめに出し入れできるなら、室内用のライトでもOK。室内の床とバルコニーに同じタイプの灯りを置けば、光が連続して一体感のある空間に。夕暮れの景色を、より印象的にしてくれます。



ポイント③  
モダンな表情の  
グリーンで視線を  
上手に目かくし

室内から外を眺めて楽しむには、逆に外から中へ通る視線を適度にカットしたい。でもカントリー調のラティスやトレリスは、和の空間に不釣り合いな場合も。そんなときは背の高いグリーンを使ってさりげなく視線を遮りましょう。あまり南国風の葉の大きなものより、シンプルで直線的なラインのグリーンがおすすです。中でも盆栽などに使われるトクサは耐寒性があつて育てやすいうえ、モダンな雰囲気にピッタリ。生垣代わりに並べて植えると、ほどよい目かくしになつてくれます。

背の高いトクサは、英国の視線をカットしてくれる便利なもの。園芸用培養土で育てられます。水は土の表面が乾いたらたっぷり。



市販の玉石や芝を部分的にアレンジすると、自分らしいスタイルに。季節に合わせた模様替えも楽しいもの。

ポイント④

景色を自在に  
切り取る、フラインドで  
印象的な窓辺に

古い和室の「雪見障子」をこ存じですか？これは、美しい庭の景色を部屋の中に取り込むための知恵なんです。

そんなアイデアに習って、バルコニーの窓辺にも景色を引き立たせるひと工夫を。フラインドはカーテンよりも開き加減の微調整がしやすく、気分やスタイルに合わせて見せる範囲を変えられて便利。和紙など自然素材のブラインドなら、和のテイストを壊さず空間にマッチ。壁の絵を掛け変えるような感覚で、風景を楽しんでみましょう。

\*\*\*

小さめのスペースでも気軽に楽しめる、坪庭感覚のバルコニー。ホントしたいひとときに、自分だけの庭を眺める贅沢はいかがですか？



窓辺には、開け閉めの調整がしやすいブラインドタイプがおすす。気分に応じてバルコニーの見せ加減を調節できます。

夜のバルコニーと室内をつないでくれる灯り。視線が外へと導かれ、二つの空間に一体感を与えてくれます。



モノタイル・ストーンブラック色をベースに、ストーンホワイト色をアレンジ。滑れた墨のような上品な黒が、落ち着いた風情をかもし出します。



ADVISER  
矢代 恵

MEG建築設計事務所代表。一級建築士・インテリアコーディネーター。建築設計のほか住まいと色彩・照明の関係や心地よいインテリア計画まで住空間提案を幅広く手がけ、大手住宅メーカーやディベロッパー対象に講師を務めるなど、多方面で活躍中。